

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和6年6月30日

事業所名:放課後等デイサービスここいろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	限られたスペースの中、広く使えるよう移動、撤去を行っている。	はい82% どちらともいえない18%	必要ない物を精査し撤去、活動に合わせ移動していく。事故の起こらないよう配置にも気を配る。
	2 職員の適切な配置	職員の配置は適切に配置しております。	はい95% わからない5%	現在の状態を引継ぎ継続していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	決められた場所に用具など配置し変更の場合はその都度説明して安全面に配慮していく。	はい95% わからない5%	現在の状態を引継ぎ継続し改善点を再考し対応していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	掃除や感染対策に関しては十分に行っている。	はい100%	感染症などに注意し清掃、消毒を行なっているが、現状に満足せず今以上に徹底して行い利用者様に安心して利用して頂けるよう努めて参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	問題点が発生した場合はその都度職員間で話し合い改善を行い、結果どうなったかを検証し次の改善につなげていくよう、自由な発言ができる場を設けております。		定期的に業務改善に関する話し合いを行っていきます。現場の意見を共有してより良い支援に繋げて行きます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	業務改善に関して質問等発生した場合は専門家へ相談し解決しております。		定期的な業務改善を行なった結果、分からないことや知識不足などの事に関しての相談を専門家と行って参ります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員の資質向上のため様々な研修機会を確保していきます。(継続)		社内での社員研修を行なっていますが、外部機関の研修に関して情報を検索し参加を促して行きます。(継続)
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々子どもたちの様子を五領域を踏まえて記録し客観的に分析し保護者のニーズや本人の気持ちを汲み取り課題を踏まえて計画書を作成しております。		五領域を踏まえた分析を心掛け、また現場のスタッフとの情報を密に交換し話し合いを持ち計画書を作成して参ります。
	2 子ども の状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもたちの活動を細かく分析しスタッフ間で話し合い様々な意見も取り入れ話し合い計画を作成しております。	はい95% どちらともいえない5%	五領域を踏まえ子供たちの活動状況の分析を詳細に行い計画書を作成して参ります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもたちの支援に必要な項目、支援内容を具体的に記載を行っております。		五領域をふまえ子どもたちの様子を観察し引き続き必要な項目、具体的な支援内容の記載を行って参ります。

適切な支援の提供（続き）

4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画内容については職員間で共有しより良い支援に繋がれる様実行して参ります。	はい95% わかららない5%	引き続き計画内容を職員間で共有する為、毎日の日報の裏表紙に計画書を貼り、今以上に適切な支援を行っていきます。
5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で活動に関してのプログラムは立案し話し合い具体的な支援内容を作りより良い支援に繋がっております。		引き続き職員間で話し合い有意義なプログラムを立案していきます。
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	それぞれの曜日、長期休暇に応じて子供たちの支援につながるプログラムを考えて実行し職員間で振り返りも常に行っております。事故が起こらないよう外出の際はシミュレーションを行って計画を立てております。	はい90% どちらともいえない5% わからない5%	引き続き子供たちの支援につながるプログラムを計画し子供たちが楽しめ成長できる内容に致します。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	多岐にわたる情報を取り入れ活動プログラムの幅を広げております。		引き続き情報の収集、職員間での話し合いをもち事業所ごとの特色を生かした、活動プログラムの幅を広げていきます。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には職員間で支援内容、子どもの引継ぎ事項、役割分担の確認を行っております。特に本人に関する引継ぎ事項には細心の注意を払い確認して参ります。		引き続き支援開始前の職員間での支援内容、役割分担の確認を徹底して行います。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は職員間で支援の振り返り、情報の共有を行っております。保護者への連絡があれば早急に連絡、対応を行っております。		引き続き支援終了後は職員間で支援の振り返り、情報の共有をし、五領域を踏まえた日報を書くことによりきめ細やかに行っていきます。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援に関して記録、検証と改善点の確認を行っております。改善点については早急に着手しております。		五領域を踏まえた日報をもとに、計画書と照らし、引き続き支援に関しての記録、検証と改善点の確認を丁寧に行って参ります。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	日々のモニタリングを職員で共有し話し合い計画の見直しを行っております。話しやすい雰囲気作りにも努めております。小さな事にも耳を傾けより良い支援に繋がって行きます。		引き続き日々のモニタリングを職員間で共有しより良い支援に繋げるための計画の見直しを行います。

関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	支援会議への参加は行っております。		支援会議への出席は引き続き行います。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	卒業者に対しては情報提供を行っております。		引き続き卒業者に対しては円滑な移行支援のため情報提供を行います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	発達障害支援センターとの連携は行っております。		専門機関での研修などの促進に努めて参ります。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状障害のない子どもとの交流の提供は行っておりません。	はい36% どちらともいえない5% いいえ27% わからない4%	障害のない子どもとの交流に関して検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現状コロナ感染が5類に移行したとはいえ感染の観点から行っておりません。		感染症の状況をみて検討していきます。

保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	丁寧に説明しております。放デイでの活動や体調、加算単位の変更等、送迎時や電話での説明を行なっています。	はい100%	引き続き丁寧に説明していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	半年に1度の面談で丁寧に説明しております。	はい100%	引き続き丁寧に説明していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	依頼があれば対応していきます。	はい32% どちらともいえない14% いいえ27% わからない27%	依頼があれば丁寧に対応いたします。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者とは密に連絡をとり話しやすい印象を持っていただけるよう努めております。	はい100%	引継ぎ共通理解に努めます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日頃から保護者様とコミュニケーションを取り、相談があれば丁寧に話しやすい対応を心掛けております。	はい95% わからない5%	引継ぎ丁寧に対応していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は特に行っておりません。	はい18% どちらともいえない5% わからない31% いいえ41%	今後必要に応じて対応していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は事実の確認を早急に行い迅速に対応しております。ヒヤリハット・事故報告書などを活用し保護者様にご心配をかけない様に心掛けています。	はい73% わからない27%	引き続き丁寧に対応していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもとの意思の疎通には個々に丁寧に対応し保護者からの相談等も丁寧な対応を心がけております。	はい86% わからない14%	引き続き丁寧に対応していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報は発行しておりませんがその他の方法などで発信を行っております。	はい86% いいえ5% わからない9%	引き続き分かりやすく発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分に注意し取り扱いしております。シュレッダーの活用や写真や動画の取り扱い方法などを職員研修で従業員に徹底しています。	はい90% わからない10%	引き続き十分に注意し取り扱います。

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは策定し周知しております。地域の防災マップを活用し情報共有しています。	はい86% いいえ5% わからない9%	引き続き徹底して周知していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な訓練は行っております。	はい54% わからない46%	引き続き定期的な訓練を行います。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	マニュアルを職員で周知し定期的な確認、研修も行っております。		外部の研修等にも参加していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う状況は想定しておりません。		身体拘束に関しては想定しておりません。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーのある方の保護者からは丁寧な説明を受けております。不安な場合は必ず保護者に確認しております。		引き続きアレルギーのある子どもの対応には十分に注意しスタッフ間での徹底的な共有に努めていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成して職員間で共有しております。		引き続き職員間で共有し対応していきます。